

松本市長が放射能解説本

「子どもたちを守るために」出版

東京電力福島第1原発事故を受け、松本市の菅谷昭市長が「子どもたちを放射能から守るために」と題した本を緊急出版した。チエルノブイリ

「イリ」の3章で構成。内部被ばくを防ぐ方法や、妊娠女性が気を付けることなど22項目ごとに解説している。

甲状腺がんが増え、今も住民を苦しめるチエルノブイリ事故を通じて「人々の苦しみや悲しみを見てきたからこそ、福島では同じような思いを

通して答えることにした。菅谷市長は「少しでも多くの人に放射線の知識をつけてもらい、冷静に対応してほしい」と話している。

原発事故後、菅谷市長に放射能への不安を抱く人たちが相次いでおり、本を

88頁、千円。発行した亜紀書房（東京）によると、5月末に発売し、既に重版が決まっている。

「放射能を浴びたら、どんな健康被害がでるのですか」「水や野菜や魚、ふつうに摂（と）ってもだいじょうぶですか」「25年目のチエルノブ



福島原発事故を受けて緊急出版した「子どもたちを放射能から守るために」